

平成27年度 事業別予算概要

事業名 71100 道 路 河 川 等 整 備 推 進 事 業 費	道路河川等整備推進事業費			予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根 拠 計 画		市 長 公 約	
	担当課 基盤整備部 建設課	内 線 2331	款		7	土木費	基本分野		5	基盤・安全	実 施 計 画 事 業		道路河川等整備推進事業		
			項		1	土木管理費	分野		2	道路			H27実施計画額		千円
			目		1	土木管理費	施策概要		1	幹線道路ネットワークの構築					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・国、県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網が構築され、便利で快適に道路が利用されている	概要	事業の実施 手法(手段)	・同盟会等を活用し、事業主体である国及び県等に対して、事業促進に向けた要望・提言活動を行う
	対象者数	91,605 人		・河川の整備促進により、災害から市民の生命財産が保護されている			

2 事業の推移・結果 (Do)

成果面	H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高山国府バイパス2工区(L=4.2km 高山国府トンネルを含む)が開通した。 ・国道41号阿多柏改良(L=2.2km 小坂久々野トンネルを含む)が開通した。 ・国、県等へ3回(7月、11月、1月)要望書を提出し、事業促進を提言した。 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
補足	算出根拠等	要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3
			実績(見込)	3	3	3		
			達成率(%)	100	100	100		
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						
		目標値						
算出根拠等		実績(見込)						
		達成率(%)						
		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
		目標値						
		実績(見込)						
		達成率(%)						

3 分析・評価 (Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・各同盟会活動の必要性や役割を検証し、活動内容の見直しなどの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る必要がある。
----------------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対する H26対応状況	・目的をほぼ達成した同盟会の廃止と、他の同盟会への事業継承
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・社会基盤の早期整備に向け、関係機関と連携した要望・提言活動の実施に努める。 ・同盟会活動の効率的で効果的な実施に向け、関係機関と活動見直しについて調整を図る。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,157	3,285	3,521	3,353
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	34	36	38	37
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・同盟会等へ負担金を支出し、国・県への要望・提言活動を行う 年3回(7月・11月・1月)予定	要求のポイント	事業実施の課題	活動内容の見直しの検討を行い、同盟会負担金の低減を図る
------	---	---------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,521	3,353	△ 168	3,343	3,343	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,521	3,353	△ 168	3,343	3,343		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72300	道路新設改良事業費	予 算	会計 1	一般会計	基本目標 5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	高山市橋りょう長寿命化修繕計画	市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。
	科目			7	土木費		基本分野 5		基盤・安全		
担当課	基盤整備部 建設課		内線	2	道路橋りょう費	分野 2	道路	H27実施計画額	千円		
			2328	目	3	道路新設改良費	施策概要 2				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰が(対象) 全市民	どうしたいのか(意図)	・大規模地震時の避難ルートや緊急輸送道路が確保されている ・老朽化した橋りょうの架替などにより、地域道路網の安全性と信頼性が確保されている ・長寿命化の推進や整備コストの縮減が図られ、維持管理などの負担が軽減されている ・地域の要望に応じた道路整備が行われ、地域交通の安全性が向上している	概要	事業の実施手法(手段)	・橋りょう及び付帯する道路構造物の耐震補強・長寿命化修繕工事を実施する ・道路改良工事を実施する ・道路拡幅用地を取得する
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・石浦飯山線(L=119.1m 若宮橋含む)、下林下岡本線(L=774.0m)、千島松本線(L=184.4m 合崎橋含む)他の改良等が完成した。 ・道路線形等について地域との合意形成を図り、用地取得を実施した。 ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事及び耐震補強工事を実施した。 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	道路改良等完成延長	m	目標値	1,200	900	426	671
		実績(見込)	1,394	797	423			
	算出根拠等			達成率(%)	116.1	88.5	99	
	活動指標	道路用地取得面積	m ²	目標値	2,955	1,746	518	3,040
		実績(見込)	1,987	1,837	209			
	算出根拠等			達成率(%)	67.2	105.2	40	
	活動指標	橋りょう整備数	橋	目標値	8	10	5	6
		実績(見込)	11	9	5			
	算出根拠等			達成率(%)	137.5	90.0	100	
成果指標	橋りょう整備によって孤立対策を実施した集落数	箇所	目標値	4	3	0	0	
	実績(見込)	4	3	0				
算出根拠等			達成率(%)	100.0	100.0			
成果指標	道路用地取得率(千島松本線・下林下岡本線・石浦飯山線・昭和3号線・上切中切2号線)【H26まで】(上切中切2号線・千島線)【H27から】	%	目標値	67	78	79	67	
	実績(見込)	59	78	79				
算出根拠等			達成率(%)	88.0	100.3	100		
補足			目標値					
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組み必要がある。 ・新工法の積極的採用等により、継続してさらなるコスト縮減に努める必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した用地交渉を行っている。 ・コスト縮減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト縮減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。 ・将来の負担を軽減する橋りょうの老朽化対策を推進する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業については事前評価を行い、投資効果や整備手法などを十分検討したうえで実施する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	622,317	928,805	693,500	1,005,860
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	6,702	10,085	7,571	10,980
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう耐震補強及び長寿命化修繕 ・村上田頃家線(村上橋) ・福地線(百合見橋) ・花本線(広瀬踏切) ・千島線 ・上切中切2号線 ほか 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう耐震補強事業 ・村上田頃家線(村上橋) ・福地線(百合見橋) ・花本線(広瀬踏切) ・千島線 	<ul style="list-style-type: none"> 高山市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき事業の計画的実施(耐震補強) 国との協定に基づき事業の計画的な実施 高山市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき事業の計画的実施(架替) JR東海への工事委託による踏切改良 国の国道41号交差点改良と協調した事業実施 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者の理解を得るための継続した交渉 ・施工方法の検討による更なるコスト縮減 ・国事業との調整による事業進捗
------	--	---------	---	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		693,500	1,005,860	312,360	864,300	864,300	・道路整備計画に基づき、事業内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	348,700	469,260	120,560	423,500	423,500		
	県支出金			0				
	その他	6,000	23,400	17,400	5,600	5,600		
	一般財源	338,800	513,200	174,400	435,200	435,200		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	72390	県営土木事業負担金	予算	会計	1 一般会計	基本目標	5 安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
種別				款	7 土木費	基本分野	5 基盤・安全	実施計画事業	県営土木事業負担金		
担当課		基盤整備部 建設課	内線	項	2 道路橋りょう費	分野	2 道路	H27実施計画額		千円	
			2331	目	3 道路新設改良費	施策概要	1 幹線ネットワークの構築				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・県道の整備促進により、市道を含めた幹線道路網を構築され、便利で快適に道路が利用されている ・河川等の整備促進により、災害から市民の生命財産が保護されている	概要	事業の実施手法(手段)	・市内で県土木事務所が実施する事業に対し受益者負担を行う
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		・負担金額 55,467千円 高山土木事務所管内 38,051千円 一般国道361号(高根町、朝日町地内)、一般県道御岳山朝日線(朝日町地内)他 古川土木事務所管内 17,416千円 主要地方道国府見座線(国府町、上宝町地内)、一般県道古川宇津江四十八滝国府線(国府町地内)他						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・事業進捗については、県の予算配分等に左右されるため、管内の予算確保に向けた取り組みを図る必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・予算確保と円滑な事業実施について、土木事務所に要望している。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・地域の生活環境向上に必要な社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○維持・改善	・地域の生活環境向上に必要な社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。		拡大		縮小	二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)		拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	○維持・改善	・地域の生活環境向上に必要な社会基盤の早期完成に向け、県へ要望するとともに事業の調整を図る。																
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	63,718	55,467	70,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	686	602	764
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・県土木事業への受益者負担金を支出する ・県土木事業の促進を図る	要求のポイント		事業実施の課題	・県予算の確保
------	-------------------------------------	---------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		70,000	70,000	0	70,000	70,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	70,000	70,000	0	70,000	70,000		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	74300	街路事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます。	
種別				款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全				
担当課	基盤整備部 建設課			項	4	都市計画費		分野	2	道路				
				目	3	街路事業費		施策概要	1	幹線道路ネットワークの構築				
		内線	2328										H27実施計画額	千円

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰が(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・歩車道分離による歩行者の安全確保と車道部の2車線化により、高山駅周辺の快適な通行が確保されている ・無電柱化事業などにより、駅周辺の良好な景観形成と大規模地震時の電柱倒壊等からの安全確保が図られている	概要	事業の実施手法(手段)	・道路改良工事を実施する ・道路拡幅用地を取得する ・無電柱化工事を実施する
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	・都市計画道路昭和中山線(L=573m W=6.0(12.0)m 両側歩道付きの2車線道路に改良)が完成した。 ・都市計画道路西之一色花岡線の用地の一部取得した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	道路整備延長	m	目標値	0	116	280	360
		実績(見込)	0	118	200			
	算出根拠等			達成率(%)		101.7	71	
	活動指標	道路用地取得面積	m ²	目標値	1,110	1,182	995	648
		実績(見込)	652	716	924			
	算出根拠等			達成率(%)	58.7	60.5	93	
	活動指標	用地取得契約件数	件	目標値	12	8	7	6
		実績(見込)	9	4	5			
	算出根拠等			達成率(%)	75.0	50.0	71	
成果指標	道路用地取得率(昭和中山線・西之一色花岡線)【H26まで】	%	目標値	79	91	100	85	
	実績(見込)		71	83	98			
算出根拠等			達成率(%)	90.1	91.3	98		
補足			目標値					
	算出根拠等			実績(見込)				
			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・用地交渉の難航については、継続して地権者の理解が得られるよう取り組むとともに、取用手続きの導入を検討する必要がある。 ・新工法の積極的採用等により、継続してさらなるコスト削減に努める必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況	・継続した用地交渉を行っている。 ・コスト削減に寄与する材料や工法の調査及び積極的採用に取り組んでいる。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・地権者との交渉を継続して行うとともに、引き続きコスト削減を図りながら、計画的な事業推進(重要度の高い施設の優先的整備)を図る。
	拡大	
	縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	270,135	347,717	757,778	648,520
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,909	3,776	8,272	7,080
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・西之一色花岡線 ・高山駅東口線	要求のポイント	・高山駅周辺土地区画整理事業の進捗と協調した事業の計画的実施	事業実施の課題	・地権者の理解を得るための継続した交渉 ・施工方法の検討による更なるコスト削減
------	---------------------	---------	--------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		757,778	648,520	△ 109,258	650,774	650,774	・用地取得状況を踏まえ、事業内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	414,700	356,235	△ 58,465	357,500	357,500		
	県支出金			0				
	その他	250,000	250,000	0	100,000	100,000		
	一般財源	93,078	42,285	△ 50,793	193,274	193,274		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	74400	中部縦貫自動車道推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約	環境対策 安全に暮らせる環境づくり 市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。		
種別				款	7	土木費		基本分野	5	基盤・安全				実施計画事業	中部縦貫自動車道推進事業
担当課	基盤整備部 建設課 中部縦貫自動車道推進室			内線	4	都市計画費		分野	2	道路					
				2372	目	4		中部縦貫自動車道等推進費	施策概要	1				幹線道路ネットワークの構築	H27実施計画額

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・中部、関東、北陸圏域への人、物の移動が円滑で、快適で利便性の高い生活が確保されている	概要	事業の実施手法(手段)	・同盟会を活用し、事業主体である国・県等に対して、事業促進に向けた要望・提言活動を実施する ・長野県の関係自治体と連携し、建設促進に向けた要望・提言活動を実施する ・民間推進団体の建設促進に向けた要望活動や市民への啓発活動に対し、補助金を交付する ・事業箇所の住民説明会の開催及び国・県と事業関係者との事業調整を行う
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・高山国府バイパス2工区(L=4.2km 高山国府トンネルを含む)が開通した。 ・国道41号阿多船改良(L=2.2km 小坂久々野トンネルを含む)が開通した。 ・一般国道361号(山口町地内 L=0.48km)が開通した。 ・中部縦貫自動車道及び国・県道の事業促進に向けた要望・提言活動の実施 ・事業主体である国、県が開催する地域住民への説明会や調査・測量立会への参加、協力 								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	要望・提言活動の回数	回	目標値	3	3	3	3
				実績(見込)	3	3	3	
	算出根拠等			達成率(%)	100.0	100.0	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・関係団体との活動内容の統廃合等による事務費の節減等について検討する必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・事務費の節減等について検討する。		
次年度の実施方針	担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・早期整備促進に向け、関係団体と連携した要望・提言活動を今後も継続して実施する。 ・事業主体と協力した住民説明会の開催や事業調整の実施により、事業の促進を図る。
	二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,115	3,510	1,660	1,550
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	12	38	18	17
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・同盟会で行う要望・提言活動への負担金支出 ・国・県等への要望・提言活動 年3回(7月、11月、1月)予定 ・民間推進団体への補助金交付	要求のポイント	・中部縦貫自動車道等の整備促進に必要な経費の確保	事業実施の課題	・早期整備促進のための有効な要望活動の実施
------	---	---------	--------------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,660	1,550	△ 110	1,550	1,550	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,660	1,550	△ 110	1,550	1,550		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	96110	過年土木施設災害復旧事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約
	種別				款	10		災害復旧費	基本分野	5	基盤・安全	実施計画事業	
担当課	基盤整備部 建設課		内線	項	1	土木施設災害復旧費		分野	2	道路	H27実施計画額		千円
		2328		目	1	過年土木施設災害復旧費		施策概要	4	生活に身近な道路の環境の向上			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰が(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・平成26年8月豪雨災害によって流失した橋りょうが架け直され、集落の孤立が解消されるなど、地域の道路が安全で快適に利用されている	概要	事業の実施手法(手段)	・橋りょう架設工事を実施する
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果面	活動指標	橋梁復旧延べ数	橋	目標値				2
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
補足	橋りょう架設数は2橋(宮前橋、河渡橋)、平成28年度完成予定	目標値						
		実績(見込)						
	達成率(%)							

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
二次評価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)			90,700
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			990
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)			91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・宮前橋 ・河渡橋	要求のポイント	・河川管理者である県と協調した橋りょう災害復旧事業の計画的実施	事業実施の課題	・河川区域内工事のため、工事期間に制約(湯水期のみ工事が可能)がある中での早期事業完了
------	--------------	---------	---------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			90,700	90,700	79,500	79,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		52,222	52,222	49,100	49,100		
	県支出金			0				
	その他			0	15,000	15,000		
	一般財源		38,478	38,478	15,400	15,400		